

トレーニングマシンは メンテナンスが命!



Vol.36 「タンニングマシンのメンテナンス」 THINKフィットネス メンテナンスチーム



今回はこの時期利用頻度が高くなるタンニングマシンのメンテナンスについてご紹介させていただきます。タンニングマシンのメンテナンスといってもマシンには高電圧が流れているため素人が行う作業には限りがあります。誤った対応を行うことで機器の破損や利用者の怪我にも繋がりますので細心の注意が必要です。

施設の方が行うメンテナンスはマシンの清掃、目視点検までに行きましょう。

■清掃の重要性について

タンニングマシンのランプは100W〜200Wのもが主流で、本数は機種によりますが1台につき40本〜70本にもなります。消費電力は高いものになると14000W近く消費するものもあります。

ランプは照射をすると熱を持ちます。70本ものランプが一度に照射を行うとマシン本体がもつ熱は非常に高温です。

正常にマシンを可動させるためにマシンには必ず「冷却ファン」がついております。この冷却ファンでマシンの温度上昇を防ぐことが安全にマシンを可動させる上で最も重要になります。



■冷却を妨げる埃

マシン本体の熱を下げるためにしている冷却ファン。問題なく回転をしているにもかかわらず冷却がしっかりととされていなければ効果はありません。

タンニングマシンのファンはマシン内部で回転し、中の熱を外に逃がすことを目的としております。そのためマシン本体の「空気循環」が非常に重要になってくるのです。熱を冷ますための空気循環は外の空気をマシン本体に入れ、マシン本体の熱を外に逃がさなければなりません。この空気循環を妨げる最大の原因は埃です。埃は通気口につまることで正常な空気循環を妨げてしまいます。

マシンには空気を循環させるための穴が多くついているためこの穴に埃がたまらないよう定期的に清掃を行う必要があります。



清掃は通気口を一つ一つ丁寧に清掃していきます。場所によってはアクリル板を取り外してから行いましょう。必ず作業を行う際はブレーカーを落としマシンの電源を切った状態で行います。

ブラシや掃除機を用いて行い、手の届かない箇所は細い棒などを使って埃を押し出しましょう。また埃は通気口を通りマシン内部にも溜まります。埃や湿気が通電している箇所に溜まるとトラッキング現象の発生確率も高まり非常に危険です。タンニングマシンはロツカールーム内やプールに近い所など湿度の高い所に設置している施設が多いため、結露による影響は高いといえます。通気口の清掃だけでなくマシンのカバーを開け内部の埃を除去することも定期的に行う必要があります。



タンニングマシンには安全にマシンを可動させるために、熱が一定の温度に上昇すると電源が落ちる熱検知センサーがついております。これは埃などが原因で空気循環がうまく行えていない場合や連続照射を繰り返した場合、設置場所の温度が高い場合などあらゆる環境が原因で作動する可能性があります。このセンサーはマシンの熱が下がると自動的にもとの状態に戻ります。この症状が出た場合は以下の方法で設置環境を見直していきましょう。

- 部屋の空調管理
 - エアコンを設置するなど部屋の温度・湿度管理を行いましょつ。
 - マシンの清掃(埃の除去)
 - 冷却時間の設定変更
 - 照射後の冷却時間(クールダウンタイム)を設定で変更できます。
- 夏場は利用頻度も増え熱検知センサーによる急停止が増えます。マシンにとってよい環境を整え、安全管理を徹底しましょつ。

総合フィットネス企業

**THINK
FITNESS**

トレーニングマシンのメンテナンスのことなら シート張り替え・保守点検・中古買い取りも承ります

☎0800-300-3005 ☎03-3645-9801 東京メトロ東西線「南砂町」駅西口徒歩3分 東京都江東区南砂3-3-6 共同倉庫内
[営業時間]月〜土 9:30〜18:00 ※日曜、祝日は休館日となります。